

かわさき区の宝物シート

宝物No.	いさごどおり
1-29	いさご通り

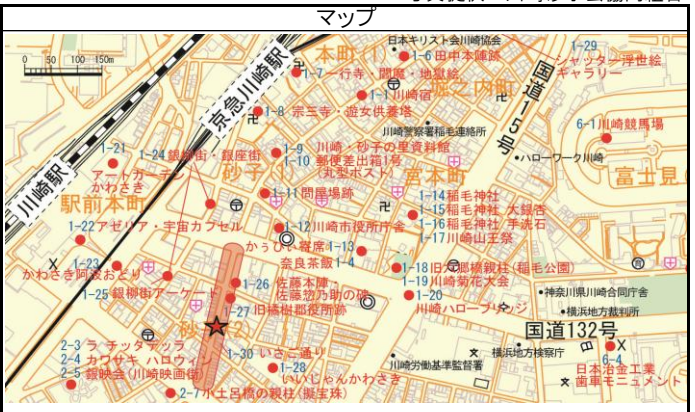
エリア	中央地区	シーズン	通年
	川崎駅前北	日時	

目的	<input checked="" type="checkbox"/> 観る <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input checked="" type="checkbox"/> 食べる <input checked="" type="checkbox"/> その他
宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり <input checked="" type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input checked="" type="checkbox"/> にぎわい <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの <input type="checkbox"/> 港めぐり <input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの <input type="checkbox"/> 人物



写真提供：川崎砂子会協同組合

所在地	川崎区砂子2丁目
問い合わせ	川崎砂子会協同組合
TEL	044-222-5187
FAX	044-211-0743
E-mail	muto@major.ocn.ne.jp
URL	
交通	J R川崎駅・京急川崎駅より徒歩5分



基礎情報

■川崎駅前の市役所通りと駅前大通りを結び、衣料スーパー、時計宝飾、提灯額縁、結納品等の物販店、美容院、金融機関等のサービス業や割烹、居酒屋、中華料理店などの飲食店等、様々な店が軒を連ねる商店街。昼夜問わず人が行き交い、川崎駅東口周辺の賑わいを支えている。

■いさご通りの歴史は古く、江戸時代には東海道五十三次の宿場である「川崎宿」の中心として旅人や商人たちで大変な活気をみせた。川崎には老舗といわれる店が多いとされるが、いさご通りの歴史が物語っている。

■現在では、街を盛り上げる取り組みとして、江戸商人の姿を映した浮世絵の設置や、6商店街が共同で行うイベント「いいじゃんかわさき」、アジア料理屋台村やアジア交流ステージで賑わう「アジアフェスタ」、バスカー（ストリートミュージシャン）が出演する野外フリーライブ「街角ミュージック」、年末年始に行われる竹製イルミネーションなど、様々な催しが行われている。

由来・エピソード

■砂子（いさご）という地名は、六郷川（現在の多摩川）の河口付近に形成された砂質の州に人が住み始めて名付けられたと言われている。もともとは砂浜の低地であったため、六郷川の氾濫時には冠水の被害に見舞われる地域でもあった。そのため、旧東海道は砂州の微高地上を通るよう配慮がなされ、さらに川崎宿の設置にあたっては宿場に盛土が施されたという。現在でも砂子から小土呂あたりを歩いてみると、旧街道筋が周囲よりも幾分か高いことがわかる。

■江戸中期の川崎宿は砂子、小土呂、新宿、久根崎で構成され、様々な商人や職人が住む770戸、人口3100人の宿場町であった。幕末までの最盛期は、六郷の渡し船を待つ旅行者や川崎大師へ向かう参拝客などで大いに賑わったという。また砂子には幕府の書状や荷物の受け取り、公用旅行者のための宿の手配、参勤交代の大名の送り迎えなどを行う問屋場、幕府や領主の定めを記した高札を立てる高札場があり、立地、賑わいともに川崎宿の中心となっていた。

■明治5年(1872)には新橋～横浜間に鉄道が開通し、川崎停車場が開設されると、川崎宿は宿としての機能をほぼ失った。やがて都市としての整備が始まり、明治22年(1889)には川崎宿と堀之内村が統合して川崎町が誕生し、昭和39年(1964)の区画整理では現在の砂子1～2丁目、東田町、駅前本町が成立した。

■現在、地元商店街の取り組みにより、通りには周辺の地図と現在地を記した案内版が設置され、その裏側には当時の宿場での商いの様子がうかがえる浮世絵が貼られている。例えば、簡単な屋根と柱付きの屋台に風鈴をつるし、夜間に蕎麦を売り歩いた「風鈴そば」、4本の割り竹を柱として簡単に編み、すだれをつけた「四つ手駕籠」、ひな祭りに天秤棒を担ぎ「山川白酒」と記した桶で白酒を売り歩いた「白酒売り」などである。ほかにも「塩売り」「八百屋」「時計師」「麦めし売り」「魚屋」などといった商人たちの浮世絵が、案内版とともに置かれている。

補足・その他

■毎年10月中旬に川崎駅周辺の6商店街によって行われるイベント「いいじゃんかわさき」では、ミュージックカフェテラスISAGOや、いさご茶屋、青空パザーなどが催されている。また、川崎信用金庫本店ふれあい広場では毎月2日間、「いさご通り街角ミュージック」が行われ、ジャズやバイオリン、ポップス、演歌など様々なジャンルのミュージシャンによる歌と演奏を聞くことができる。

■12月中旬～1月中旬には、いさご通り商店街と近隣商店街が共催する合同イルミネーションが行われ、いさご通りでは竹製の手作りイルミネーションが数多く設置され、撤去後の竹は貯金箱、花生け等に加工し、無料配布される。

関連シート

- (1-1)川崎宿
- (1-27)いいじゃんかわさき